



高知 鏡川 RYOMA 流域学校

鏡川流域内関係人口創出講座
「高知・鏡川 RYOMA流域学校」

募集要項

応募締切 2021年12月10日(金)17:00

2021年11月

主 催：高知市環境部新エネルギー・環境政策課
企画運営：株式会社ソトコト・プラネット

はじめに

■趣旨・目的

近年、鏡川上流域では様々な分野での担い手不足から、人による自然への関わりが薄れ、流域の美しい景観や自然環境が失われつつあり、災害リスクの高まりなど、地域の持続可能性にも影響を及ぼしています。

本講座では高知市内在住者を対象に、鏡川流域の現状や課題を知る座学や現地フィールドワークを通じ、「電子地域ポイント」の導入を契機に、鏡川流域の持続可能性を高めるための地域と市街地との継続的な関わり方を検討します。

■対象者および参加条件等

◎高知市内在住で、高知市・鏡川流域の地域づくりや環境保全、関係人口づくり、持続可能な暮らしのあり方などに関心がある方で、原則として全4回の講座（うち、高知市内開催3回、現地実習1回）に参加可能な社会人、大学生の方。

◎PCスキル（Word）及びインターネット環境のある方。

■募集人数

30人程度 ※ただし選考基準による規定の最大人数であり、定員を保証するものではありません。

■応募締切と結果通知

締切／12月10日（金） 17：00まで

選考結果通知／12月13日（月） ※電子メールでのお知らせとなります。

■実施スケジュールと開催会場 ※日程・会場等、都合により変更する場合があります。

講座回	月日	会場名
説明会	12月4日(土) 14:30～16:40	オーテピア高知図書館
第1回 座学	12月23日(木) 18:30～21:00	調整中(高知市内)
第2回 座学	1月16日(日) 13:00～17:00	調整中(高知市内)
第3回 フィールドワーク	2月4日(金)～2月6日(日)	高知市内鏡川流域での現地フィールドワーク
第4回 発表会	2月20日(日) 13:00～17:00	調整中(高知市内)

★フィールドワーク（第3回）について

鏡川流域で活動するローカルプレイヤーを訪ね、彼らの仕事現場を見たり体験したりすることで、鏡川流域の現状への理解を深めます。最終発表でのプラン発表に向けて、電子地域ポイントの活用方法を考える足がかりをつくることを目的としています。

★発表会(第4回)について

高知市内鏡川流域の施設にて、講座の修了式を行います。今後上流域と下流域の人々が交わり一緒に鏡川流域の未来を考えるきっかけとなる電子地域ポイントの活用方法を発表していただきます。

講座について

■講座の概要

- ◎高知市・鏡川流域の現状を学ぶ基礎レクチャーやグループワーク、現地フィールドワークなどを通じて、上流域と下流域の人々が交わり一緒に鏡川流域の未来を考える人材を養成します。
- ◎上記の講座の受講、および実習での体験を通じて2022年3月に導入される電子地域ポイントの利用方法を考え、講座後も鏡川流域と関わっていく方法を模索します。

■プログラム内容



■受講生のフォローアップ体制について

受講が決定しましたら、受講者専用のFacebookグループにご招待します。講座を欠席したり講座の時間内で課題が終わらなかった際にはFacebookグループを活用してオンラインで事務局スタッフがフォローアップしますので安心して受講ください。

また、受講者専用Facebookページは、メイン講師、講座メンター、講座ゲストや現地フィールドワーク訪問先のローカルプレイヤー、並行して開催される首都圏在住者向けの講座「エディットKAGAMIGAWA」受講生が参加するオンラインコミュニティとなります。鏡川流域とのつながりを感じながらオンラインで交流を深めていきましょう。



講座内容(全4回)

各回テーマ		
日時	時間	内容と講師
【第1回】 鏡川流域を知る／鏡川流域の未来づくりのコンセプトを考えてみる		
12/23(木)	18:30～ 21:00	<p>まず地域の未来を考えるためヒントを『ソトコト』編集長・指出一正がレクチャー。鏡川流域の現状や「電子地域ポイント」の活用方法を学んだ上で鏡川流域らしいキャッチコピーやポイント単位を検討し、実現したい鏡川流域の未来像を参加者全体で共有します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク ・レクチャー① 高知市・鏡川流域について ・レクチャー② 電子地域ポイントについて ・レクチャー③ 地域の未来を考えるためのヒント ・ワークショップ <p>メイン講師・指出一正、メンター・奥川季花氏（オンライン）、電子ポイントシステム事業者</p>
【第2回】 鏡川流域とのワクワクする関わり方を考えてみる		
1/16(日)	13:00～ 17:00	<p>ゲストのレクチャーを聞いて新しい視点を取り入れたり、参加者同士で対話をしたりしながら、鏡川流域と自分の共通項や、鏡川流域でやってみたいことのアイディアを出し、ご自身の鏡川流域との関わり方の柱をつくっていきます。</p> <p>講座中には、鏡川流域ならではのアクティビティが楽しめる時間を設けます。</p> <p>メンター・奥川季花氏、現地ゲスト（調整中）</p>
【第3回】 鏡川流域を五感で体験する（現地フィールドワーク）		
2/4(金) ～ 2/6(日)	2泊3日	<p>ご自身のやりたいこと、より深く関わってみたい人など、それぞれのプランの方向性に合わせて、鏡川流域で活動するローカルプレイヤーの元を訪れ、流域について理解を深めていきます。ご自身の関わり方を「電子地域ポイントプラン」に落とし込むためのワークショップも行います。</p> <p>首都圏在住者の方向け講座の参加者も合流しての実施となりますので、鏡川に関心がある方同士で交流を深めていきましょう。</p> <p>メイン講師・指出一正（6日のみ）、メンター・奥川季花氏</p>
【第4回】 最終発表会 & 修了式		
2月20日 (日)	13:00～ 17:00	<p>ご自身の「電子地域ポイントプラン」を通じた鏡川流域との関わり方を発表していただきます。</p> <p>メイン講師・指出一正、メンター・奥川季花氏</p>

※講座の内容と時間配分は受講生の希望・動向などを考慮して、随時更新する予定です。
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催となる場合があります。

メイン講師・講座メンター紹介

(敬称略)

さしで かずまさ

■ 指出一正

＜メイン講師/未来をつくるSDGsマガジン『ソトコト』編集長＞

観光以上・定住未満の新しい地域との関わり方である「関係人口」の第一人者として、ライフワークと取材を通じて訪れた数多くの地域やローカルプレイヤーの活動、SDGs、ウェルビーイングに関する知見を活かし、地方自治体の関係人口創出講座の総合監修やメイン講師、官公庁の委員などを務める。



1969年群馬県生まれ。上智大学法学部国際関係法学科卒業。雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。鳥根県「しまこトアカデミー」メイン講師、奈良県「SUSTAINABLE DESIGN SCHOOL」メイン講師、静岡県「『地域のお店』デザイン表彰」審査委員長、和歌山県田辺市「たなこトアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サステイナブルデザインスクール」メイン講師、やまがたアルカディア観光局「ライク・ア・パードokitama」総合監修、山形県金山町「カネヤマノジカンデザインスクール」メイン講師、秋田県湯沢市「ゆざわローカルアカデミー」メイン講師、福島県郡山市「こおりやま街の学校」学校長、鳥根県松江市「and YOU 松江市関係人口プロジェクト」メイン講師、富山県「とやまつながるラボ」監修、奈良県「奥大和で会いましょう。」企画監修、奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、天川村、曾爾村「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」エリア横断キュレーター、岡山県真庭市政策アドバイザー、富山県「くらしたい国、富山」推進本部本部員、群馬県「群馬県過疎有識者会議」委員、上毛新聞「オビニオン21」委員、栃木県宇都宮市「カマクリ協議会」委員をはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」委員。内閣官房「水循環の推進に関する有識者会議」委員。環境省「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員。国土交通省「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会」委員。総務省「過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会」委員。農林水産省「新しい農村政策の在り方検討会」委員。UR都市機構URまちづくり支援専門家。内閣官房「ふるさと活性化支援チーム」委員。内閣官房水循環アドバイザー。林野庁「森林空間を活用した教育イノベーション検討委員会」委員。BS朝日「パトナタッチ SDGsはじめてます」監修。経済産業省「2025年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。趣味はフライフィッシング。

おくがわ としか

■ 奥川季花

＜「高知・鏡川 RYOMA流域学校」講座メンター＞

高校時代に地元で紀伊半島大水害により被災したことがきっかけで、災害リスクの低い山づくりをしたいと思うようになり、現在は災害リスクの低い山づくりを目指し設立した株式会社ソマノベースの代表取締役をつとめる。育てた苗木が木材製品として戻ってくる、購入者が山づくりに参加できる新しい形の観葉植物「MODRINAE」を発表し、林野庁補助事業のWood Change Awardにてブロンズ賞を獲得、その後同製品にてクラウドファンディングを成功させる。大学時代からソーシャルビジネスに関わる活動をしてきたこともあり、社会課題を解決していくビジネスにとっても関心があり、林業を通して防災をしていくことはもちろん、大好きな地元和歌山県に関わる人を増やすことを目指す。造林業を営む株式会社中川のフォレストワーカーとしても勤務。



■その他の受賞歴■ Sustainable Forest Action 2020 優勝 ■メディア掲載情報 ■ テレビ・NHK「ぎゅぎゅっと和歌山」「ほっとニュース関西」「おはよう日本」・関西テレビ「報道ランナー」 YouTube・イナズマロックドリームTV ※3回出演 新聞・雑誌・紀伊民報・ニュース和歌山・Pen・林政ニュース など多数

■ 鏡川流域の自然や人と自分らしく多様に関わる大学生たち

一足先に鏡川流域で地域の人と関わりながら地域の課題を魅力に変えている高知市の大学生が、鏡川流域の関係案内人として受講生の皆さんを地域と関わる楽しさの入り口へといざないます。



高橋里帆さん、前田大我さん、小川祐平さん

大学の近くを流れる鏡川の上流で、地域の方とアウトドア・サウナや焚き火サロンを楽しみました！
楽しい遊びや環境、SDGs、農林業や地域課題の勉強をする場として、市街地から近い鏡川流域は若い世代にも最適で、講座も地域の方や同世代の皆さんと一緒に楽しみたいです。



高橋萌咲さん

大学の授業で、鏡川の源流域に入って自然資源や地域の方からたくさんのお話を教えてもらいました。
コロナ禍が収束したら、「世界の地域の絵を描く旅」に出たいので、身近な鏡川の「自然を活かした暮らしや地域活動」を学んで、地域の方に喜んでもらえるような編集や情報発信ができるよう、皆さんと学んでいきたいです。

電子地域ポイントについて

2022年3月に高知市で導入する「電子地域ポイント」は、ひと・まち・地球にうれしい体験で地域とつながるコミュニティ通貨サービスです。ポイントを「もらう」のも「あげる」のも地域の仲間と「つながる」場面で使われます。利用すればするほど、地域内外の人がつながっていくポイントです。

「電子地域ポイント」で出会えるうれしい体験って？
「電子地域ポイント」でできる「うれしい体験」は、大きく分けて2つの軸とプラスαの「ちょっとおトク」な要素があります。



受講応募について

■応募方法

1) 申請書類

応募に際しては、下記サイト（右のQRコード）内の「応募フォーム」より必要事項をご記入のうえご応募ください。



◎高知市「高知・鏡川 RYOMA流域学校」ソトコトオンライン内講座情報ページ

URL : <https://sotokoto-online.jp/local/11514>

※講座の最新情報は、下記のサイトをご覧ください。

◎高知市「高知市・鏡川流域関係人口講座（仮）」facebookページ

URL : <https://www.facebook.com/kochikagamiyawa2021/>

2) 応募受付期間

2021年11月19日(金)～2021年12月10日(金) 17:00まで

3) 審査方法

受講にあたっては、本事業の趣旨に基づき応募フォーム記載内容を審査の上、選考します。

4) 選考結果のご連絡

選考結果は、12月13日(月)までに事務局からメールにてご連絡します。

■受講費 無料

※懇親会参加費、現地フィールドワークにかかる交通費、宿泊費、食費、イベント保険料、インターネット通信料、その他、講座受講に関わる経費は自己負担となります。

■お問い合わせ先

- ・応募に関するご相談やお問合せは、下記事務局までお願いいたします。
- ・高知市「高知・鏡川 RYOMA流域学校」事務局（株式会社ソトコト・プラネット 内）
担当：中村／伊藤
- ・E-mail : nakamura@sotokoto-online.co.jp

■個人情報の取り扱いについて

- ・ご応募いただいた資料および個人情報は、本事業内の目的で利用し、適切に管理致します。それ以外の目的での使用はいたしません。

■取材協力をお願いについて

本講座は、Facebookページ、高知市公式サイト等広報媒体、『ソトコト』の誌面やWEB版、高知県・高知市内メディアの取材等において、講座やインターンシップの活動状況を取材・掲載させていただく予定です。あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

なお、写真掲載等を希望されない方は配慮いたしますので開講前にご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策について

受講2週間前に以下の事項に該当する方は、受講をお控え頂きますようお願いいたします。

- ・発熱があった方
- ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状があった方
- ・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)があった方
- ・嗅覚や味覚の異常があった方
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触の可能性があった方
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいた方
- ・過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域など等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった方

受講される方は、以下を遵守いただきますようお願いいたします。

- ・厚生労働省の新型コロナウイルス感染症におけるホームページを予めご確認の上で受講ください。(※1)
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA (ココア)」をご活用ください。(※2)
- ・受講される方御自身の自己責任、自己管理の元に受講をお願いいたします。
- ・こまめな手洗い、アルコール消毒等を行なって下さい。
- ・来場時の検温、マスク着用等のご協力をお願いいたします。
- ・発熱等の風邪症状のある方は受講を控えてください。

※1

- ・厚生労働省ホームページ新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

※2

- ・新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA (ココア)」とは？

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受ける事が出来るスマートフォンアプリです。詳しくは厚生労働省のホームページで御確認ください。

- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

<事業主体>

高知市 環境部新エネルギー・環境政策課

〒780-8571 高知市本町5丁目1-45

Webサイト：<https://www.city.kochi.kochi.jp>

TEL：088-823-9209

<運営事務局>

株式会社ソトコトプラネット (担当：中村/伊藤)

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町17-6 渋谷協栄ビル5階

E-mail：nakamura@sotokoto-online.co.jp

Webサイト：<https://sotokoto-online.co.jp/>